

傷つけずに収穫

高い作業性で外国人も



オサダ農機の自走式キャベツ収穫機



ササキのごぼうハーベスタ

近江度量衡・滋賀津市東矢倉3-11は、12日、14日、

燃料漏れ抑止構造

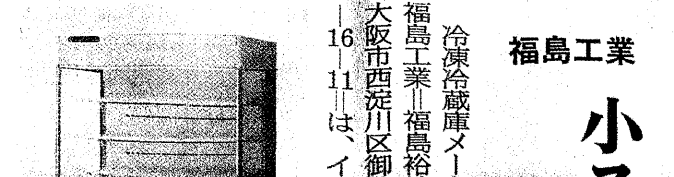
センターイン画期的なタンクキャップ



「ナイスキャップ」を開発した仲内社長

センターインコーポレーションの仲内隆夫社長は、作業中の揺れや横倒しになった場合に瞬時に作動して空気を遮断し、燃料漏れを防止する。また、エアタンクから燃料がこぼれないようにするには完全密封するのがベストだが、そうすると空気が入らなくなりエンジンは止まってしまふ。そのため、空気孔をあけているのだが、そうした箇所から燃料がこぼれてしまうため、エンジンタンク自体に型を入れるなどの仕組みが講じられている。「ナイスキャップ」はこ

うした点を解消。同社の実験では安価な中国製が約30%に対し約98%と高い防止率をあげた。トライ&エラーを繰り返して完成した、と仲内社長。「キャップを交換するだけで燃料漏れを抑制できるので、環境にも優しい。タンクの呼吸による燃料の気化排出を防ぐことができるので、燃料コスト削減にもお役に立っている製品」と力説。また、「燃料漏れを起因とする不具合や事故防止にもつながる」と安全面でも貢献するほか、口金の高さを追加加工する必要もないデザイン面でも貢献する点も強調した。



冷凍冷蔵庫メーカー 福島工業 小

全国のブロック第一回
 目の開催場所となったのは北海道いわみざわ農業協同組合見沢支所およびキセキ北海道本社事務所。30名の女性農業者が参加した。はじめに「JAいわみざわの地域概況省庁農業等について」をテーマに講義を受けた後、キセキ北海道事務所へ移動し、BIG-Tや乗用型のTQを体験した。またトラクタの日常的なメンテナンス

でも強い関心

値システム精米機

丸七製作所「本社・東京都足立区千住1-23-2」が開発した高付加価値システム精米機MC3700R (MC2200R) Type3は、複合機として一体化したシステムならではの利便性に優れ、①玄米からの石の選別除去(石抜き)②

丸七製作所(阿部信一社長)は、10月30日、11月5日、秋田県男鹿市「第137回、秋田種苗交換会」に高付加価値システム精米機C3700R (MC2200R) Type3を出展したが、「二連の工程をメインスイッチ一つでコントロールすることができる」という入場者の関心は非常に高く、会社側でも自信を深めていた。

差別化を求めため、精米に付加価値をもたらす周辺機器の導入も増加している。しかし、このような機器の増設は精米品質を向上させるものの、往々にして使用環境を複雑にさせ利便性を犠牲にしてしまふ。今回の高付加価値システムは、米の精米機は強力ファンにより、大気を換気室内に取りながら温度上昇を自の換気技術により精米を実現。また込んだ外気を精米生ずる糠とともに排出するため、米



福島工業 小